

やまびこ



労働安全 全体会議

(6頁に関連記事)

目 次

- ◇組合長挨拶…………… 2
- ◇功労者表彰…………… 3
- ◇第48回全国育樹祭…………… 4
- ◇栗原苔フェスティバル2025…………… 5
- ◇労働安全全体会議…………… 6

- ◇宮城森林・林業活性化センター栗原支部
スマート林業実演研修会…………… 7
- ◇インターンシップに高校生参加！…………… 8
- ◇森林保険に加入しませんか…………… 8
- ◇係より…………… 8

猛暑が終わり、熊対策へ...



代表理事組合長
狩野周一

日頃、栗駒高原森林組合運営につきましては、温かいご理解ご協力を頂いております事に感謝と敬意を表します。

今年の夏も暑い日が続き兵庫県柏原では全国の観測史上最高気温が更新され41.2度を記録しました。当地区も例外に漏れず真夏日、猛暑日が常態化しており、年々労働環境は悪化の一途をたどっております。こうした環境の中、現場技能者の方々に於かれましては、作業環境の改善、作業効率の向上、熱中症対策として、ご理解ご協力を頂き、早朝作業(午前5時作業開始)に取り組んで頂きました。職員の方々につきましても、ローテーションを組んで対応して頂きました。

こうしたご労苦に対し、熱中症対策グッズ購入、暑気払い等に活用できるよう職員、現場技能者に対し役員皆様のご理解ご協力の下、

猛暑勤務手当を支給させていただきました。

最近、熊の目撃情報、被害状況が毎日のように報告されております。すでに皆さんご存じの通り、栗原市栗駒文字荒砥沢地内に於いて人的被害があり、1名の方が亡くなっております。未だ行方不明の方の消息がつかめていない状況にあります。心からお悔やみを申し上げます。

11月5日に熊による人身被害を防止するため秋田県では、陸上自衛隊を要請しクマの捕獲に向け協定を結び、自衛隊が箱ワナの運搬などの支援を行い、熊対策支援に乗り出すという、異常事態となっております。

熊はこの時期、冬眠のため栄養をたつぷりと蓄える必要があります。ところが地球温暖化などによ



る気候変動や大規模なソーラーパネル等の設置による山林開発などで、熊が生息する山のブナの実等の不作により、食料が著しく不足し、その結果人間が住む生活圏に食べ物を求め、市街地に出没するケースが全国的に急増し過去最多の人的被害が報告されております。先日、花山の猟友会のメンバーの方のお話ですと、エサ不足のため十分脂肪を蓄えられない個体が多くなっているとの事です。

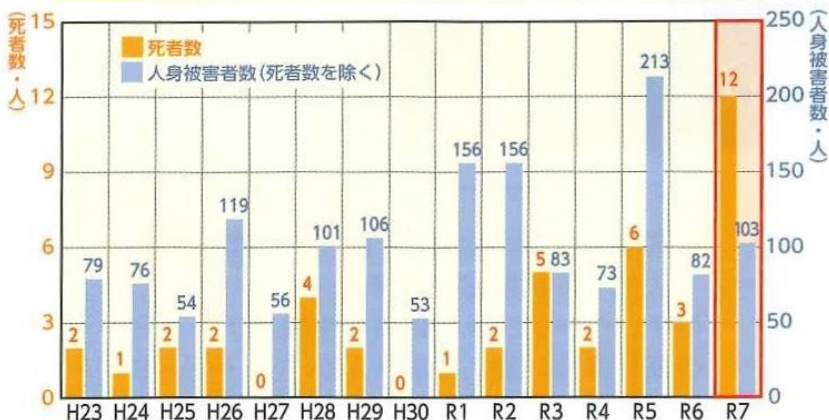
今年は、エサ不足の影響により冬眠せず、或いは途中で覚醒して活動する熊が発生しかねないと専門の方が警鈴を鳴らしております。組合と致しましては、職員会議、安全衛生委員会及び班長会議等で対策を講じている処であります。調査等で山へ入る際は決して一人では入山しない。熊鈴をつけ熊スプレーは必ず携行する等の対策を講じている処であります。

熊はどこに出没するか予想がつかみません。熊への恐怖はいつまで続くのでしょうか。

もはや地方自治体や地域住民だけでは、限界があり、国の支援に期待せざるを得ない状況にあると思考されます。

組合の状況についてご報告申し上げますと、第23回通常総代会でご承認いただきました事業計画達成のため役員一丸となって取り組んでまいりましたが、9月実績までのご報告を致しますと、事業部門合計につきましては、事業取扱い金額で申し上げますと令和7年度計画990,620千円に対して846,454千円の実績を上げており、途中経過であります。今後共、宜しくご理解ご協力をお願い致します。

クマによる人身被害者数推移



※ R7：死者数は10/29現在、人身被害者数は9月末時点(環境省より)

令和7年文化の日表彰

産業功労表彰(森林組合役員)

佐藤 則明氏

10月30日に仙台市の東京エレクトロンホール宮城において宮城県文化の日表彰式が行われ、森林組合理事の佐藤則明氏が多年にわたり団体の役員として事業の推進に努め、地域林業の振興に寄与し産業功労を受賞されました。

佐藤理事は平成21年3月より現在に至るまで森林組合長及び理事として永年に亘り在職(16年7ヶ月)し、組合事業及び子会社の指導に精励し地域の森林造成、森林整備事業の推進と緑化推進に尽力され受賞となりました。

受賞、おめでとうございます。



全国森林組合大会

功労者表彰(現場技能者)

佐藤 大介氏

10月21日に東京銀座ブロッサム中央会館を会場に第30回全国森林組合大会が開催されました。開催に先立ち表彰が行われ、功労者表彰として現場技能者の佐藤大介氏が受賞されました。大会では、系統運動推進に必要な財源確保と国際協同組合年を契機とした森林組合の発展についての意見表明を行うとともに、森林組合系統運動「JForestビジョン2030」の半期成果検証の報告・見直しが行われました。

また、脱炭素・国土強靱化に向けた森林整備・保全と適切な管理の推進や、人材確保・育成と労働安全対策推進強化、生産性の向上と国産材の利用促進等を強く訴え、大会を終了しました。



第48回全国育樹祭



秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ(林野庁HPより)



秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、宮城県では初となる全国育樹祭が開催されました。「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」をテーマに10月4日(土)、国立花山青少年自然の家南蔵王野営場(白石市)で平成9年に天皇、皇后両陛下がお手植えされたブナ、オオヤマザクラの「お手入れ行事」が240名出席し執り行われました。

10月5日(日)は「式典行事」で利府町のセキスイハイムスーパーアリーナを会場に、約2,700人が参加し、持続可能な森林づくりや森と海のつながり、東日本大震災の教訓を伝え、宮城の魅力を発信しました。また、秋篠宮皇嗣殿下より、持続可能な森林・林業について敬意のお言葉を頂きました。

式典では、緑化功労者等へ表彰状等の贈呈や緑の少年団活動発表、メインテーマアトラクション森と海と人の物語を行い、最後に大会宣言を告げみやぎ2025第48回全国育樹祭の幕を閉じました。

第48回全国育樹祭宮城県緑化等功労者表彰(栗駒高原森林組合関係)は、次のとおりです。

◆ 次世代へ繋ぐ「森づくり」部門 ◆

- ・佐藤 幸吉氏(理事)
- ・栗駒高原森林組合



◆ 緑と共に歩む「人づくり」部門 ◆

- ・高岩 豊彦氏(現場技能者指導員)
- ・門 傳 仁氏(代表監事)



栗原苔フェスティバル2025



全国唯一の苔の祭典「栗原苔フェスティバル2025」を、11月1日(土)栗駒山麓ジオパークビジターセンターで、宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所、栗原市、一般社団法人栗原市観光物産協会、栗駒高原森林組合の実行委員会で開催しました。

当日は心配された大雨も未明に上がり、紅葉時期にも恵まれ約550人の多くの方々が来場されました。全国から苔事業者13者参加され苔の商品展示・販売も行われ、未知の苔を紹介し、特にワークショップの苔テラリウム体験や苔玉体験、苔の育成体験、苔の知識と技術向上の情報発信をすることができました。また、栗駒高原森林組合青年部による木工ワークショップも行われました。

フェスティバルは、「くりはらの苔」の認知度向上と販路開拓を図るため、県内及び県外の苔関連業者や苔生産者などが集い、栗原地域における苔栽培等の取り組みを発信するとともに、苔玉や苔テラリウムの展示・販売・作製体験・苔栽培の講習・体験など苔の魅力を体感できるイベントとして開催しました。皆様のご来場、ありがとうございました。



労働安全全体会議を開催しました



11月18日～25日にかけて、当組合所有林地内にて令和7年度労働安全全体会議が行われました。昨年の同時期に行った『基本的な伐倒について』の講習に引き続き、本年は『正確な伐倒作業をするために』をテーマに掲げての実技講習を開催しました。伐倒基礎技術Check&Clinic研修の受講者である当組合作業員千葉貴文氏と渋谷元気氏を伐木指導員とし、よりきめ細やかな指導が行えるよう、少人数体制(一回最大7名程度)、全員が実演を行うという新しい形態で講習を行いました。

一人一人が指導員のもとで受け口の切り方を実演し、作業中の姿勢がどのようになっているかや、受け口の形・水平状態を確認したり、予測される伐倒方向を検証したりと様々な要素について基本を振り返りながら指導・意見交換を行い、参加者全員が改めてこれまで行ってきた伐倒作業について、真剣な面持ちで再確認していました。認識を新たにして受け口の修正を行ったことで、伐倒方向がより正確に定まるようになる受講生も多く、個人個人の技術向上につながる大変有意義な時間となりました。今後も、安全でより精度の高い伐倒技術の習得を目指して日々取り組んでいきたいと思ひます。



宮城森林・林業活性化センター栗原支部スマート林業実演研修会

令和7年10月6日(月)



宮城森林・林業活性化センター栗原支部によるスマート林業実演研修会を、支部会員17名参加のもと、石巻市仙台塩釜港(石巻港区)雲雀野地区で開催しました。

今回の研修は、第48回全国育樹祭開催記念行事として森林・林業・環境機械展示実演会での研修でした。ハーベスタやフォワーダなどの高性能林業機械を始め、チェンソーや刈払機等の林業機械、木材破砕機等の木質バイオマスの有効活用や環境保全に資する機械器具、安全器具機材などを展示実演し、その性能を紹介すると共に森林・林業・環境機械の普及とその安全使用を紹介されていました。また、令和7年度「緑と水の森林ファンド」事業の助成を受けて行われており、当日は過去最大規模となる91社、団体が出展し自社・団体のイチオシの製品・技術をアピールしていました。特に、大型ドローンや高性能林業機械の遠隔操作などDX等新技術の導入を図られ、正に最先端のスマート林業機械展示実演会でした。



インターンシップに高校生参加!



令和7年9月2日(火)～3日(水)までの2日間、一迫商業高等学校2年生1名がインターンシップに参加しました。

インターンシップは、学生が興味のある企業などで実際に働いたり、訪問したりする職業体験のことで、林業の基本である「植えて」「育てて」「伐って」「使って」の持続可能な森林・林業について職場体験をして頂きました。

近年、全国各地で山火事が多発しています！
もしもに備えて森林保険に加入しませんか？

山火事や豪雨、大雪など8種類の災害に備えるセーフティネット

森林保険

いつかくる？
備えはある？



たもちい
森林保険公式キャラクター

そよりん
森林保険公式キャラクター

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター

お申し込みは、お近くの森林組合、または森林組合連合会へご相談ください。

全国森林組合連合会・道府県森林組合連合会・森林組合



←詳しくはウェブサイトをご覧ください。

ご相談は
栗駒高原森林組合まで!

係より 組合員のみなさんへ



- 相続加入手続きについて**
組合員が死亡した場合、届出が必要になります。相続加入手続きをお願いいたします。
 - 承継加入手続きについて**
組合員が後継者に山林を贈与した場合、届出が必要になります。
 - 住所変更について**
組合員が住所を変更した場合、届出が必要になります。
 - 栗駒高原森林組合青年部**
女性会員募集中です。
- ◎詳細については、総務課にお問い合わせ下さい。

☎02228-4513311